

防災と男女共同参画 に関する事業推進のための オンライン 人材育成研修

受講後には
全課程修了者に
講師用パワーポ
イントデータをお
送りします

2022年

12/9 (金) 12/10 (土)

講師：浅野幸子さん 池田恵子さん
(減災と男女共同参画 研修推進センター)

発災時に男女共同参画の視点で被災地にアドバイスや情報提供を行うなど効果的な役割を果たすことができる人材を育成する 2 日間の研修です。新型コロナウイルス感染症を踏まえた災害対応を視野に入れ、地域防災にもすぐに役立つ、最新情報をふんだんに盛り込んだ充実した内容です。第5次男女共同参画基本計画に盛り込まれた「男女共同参画センター間の相互支援の促進」に資することもめざします。

対 象 : 全国女性会館協議会の会員館職員、防災に関係する自治体職員、テーマに関心のある方

定 員 : 30 名 (定員に達し次第受付終了)

受講料 : 9,000 円 (全国女性会館協議会会員館及び個人会員は 6,000 円)

申込手順 : 10 月 3 日 (月) 受付開始 **申込締切日 : 11 月 13 日 (日)**

全国女性会館協議会のホームページの申込フォームからお申込みください。

<https://j-kaikan.jp/news/from-jkaikan/5647>

※提供いただいた個人情報 は本事業運営のみに使用し、
他の目的には一切使用しません

問合せ : 特定非営利活動法人 全国女性会館協議会

Email : info@j-kaikan.jp

TEL : 03 - 6426 - 1700 (水曜日)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため事務局の出勤は水曜のみとさせていただきます。



こちらからお申し込み
が可能です。

主催 : 特定非営利活動法人全国女性会館協議会

共催 : 減災と男女共同参画 研修推進センター

◆研修の概要◆

- ・期間を限定した Youtube 動画配信によるオンデマンド事前学習（11/25～）
- ・参加者と全国女性会館協議会をオンラインでつないだ講義とグループワーク（12/9、12/10）

◆研修の流れ◆

1. 参加申込（全国女性会館協議会の申込フォームからお申込みください）
2. 受講料振込（申込受付後、全国女性会館協議会から受講料の振込口座をお知らせします）
3. 資料受取（入金確認後、事前学習用の動画 URL と資料をメールでお送りします 11月中旬）
4. 事前学習（動画を視聴してください ※配信は12月10日17時まで）
5. 資料受取（当日用のテキストをメールでお送りします 12月上旬）
6. 研修参加（下記プログラム表参照）

◆その他◆

- ・Zoom 使用が可能なインターネット環境が必要です
- ・全課程修了の受講生の方には、講師として活動の際すぐに活用できるパワーポイントデータをお送りします（受講後ひと月ほどお時間をいただきます）

【講 師】

浅野 幸子さん

早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘
研究員。減災と男女共同参画 研修推進セン
ター 共同代表。
阪神淡路大震災で NGO のボランティアスタッフ
として在宅避難者・仮設住宅・全焼地域の復興
まちづくり協議会支援に4年従事。その後、
（財）消費生活研究所、全国地域婦人団体連絡
協議会で事務局・研究員として勤めつつ大学院
修了。大学非常勤講師。主な分野は地域防災、
災害とジェンダー。

池田 恵子さん

静岡大学教育学部・同大防災総合センター 教
員。減災と男女共同参画 研修推進セン
ター 共同代表。
青年海外協力隊員、JICA 技術協力専門家（開発
とジェンダー）などとしてバングラデシュやネ
パールで環境保全や防災の事業にジェンダー
視点を組み込む活動に従事。2000年より静岡大
学教育学部教員。日本と南アジアの国々を対象
に、地域防災への女性の参加、災害リスク削減
とジェンダー・多様性について研究。

オンデマンド事前学習（11月25日～） 計3時間05分

11月中旬	資料メール送信	
11月25日～12月10日	オンデマンド教材公開	
11月25日～12月5日	事前学習に関する質問を事務局に送信（任意）	
内 容	（基本スライドの上演） なぜ防災に男女共同参画の視点が不可欠なのかを学びます	70分
	（基本スライドの上演） 災害時の性暴力被害と対応について学びます	45分
	国の政策について共有します	60分
	ワークショップの準備について	10分

1 日 目 (12 月 9 日・金曜日) ※時間配分・内容は一部変更の可能性あり	
10 : 00 ~ 10 : 20 (20 分)	あいさつ・資料確認・2 日間の流れ
10 : 20 ~ 11 : 00 (40 分)	事前学習のふりかえり (基礎スライドについて)
11 : 00 ~ 11 : 10 (10 分)	休憩
11 : 10 ~ 12 : 10 (60 分)	多様性を災害支援に組み込む * 要配慮者、避難行動要支援者 * 子ども・若年女性、LGBT、外国人
12 : 10 ~ 13 : 10 (60 分)	昼食休憩
13 : 10 ~ 14 : 00 (50 分)	自治体の男女共同参画担当部門・男女センターの役割、 市民団体との連携
14 : 00 ~ 14 : 10 (10 分)	休憩
14 : 10 ~ 15 : 10 (60 分)	大規模災害時における男女センターによる支援活動事例
15 : 10 ~ 15 : 20 (10 分)	休憩
15 : 20 ~ 16 : 00 (40 分)	各地の啓発、女性防災リーダーの育成の取り組み事例
16 : 00 ~ 16 : 30 (30 分)	全体を通じた質疑

2 日 目 (12 月 10 日・土曜日) ※時間配分・内容は一部変更の可能性あり	
10 : 00 ~ 10 : 50 (50 分)	【災害後の事業継続と被災者支援の制度・しくみ】 * 事業継続の視点 (組織一般、行政、ステークホルダーとの関係) * 被災者支援のためのしくみ (災害救助法、被災者生活再建支援法など) * 災害ボランティアの活動
10 : 50 ~ 11 : 00 (10 分)	休憩
11 : 00 ~ 11 : 50 (50 分)	【災害時の対応シミュレーション】 男女センター、行政、市民団体の各立場の被災シナリオをもとに
11 : 50 ~ 12 : 50 (60 分)	昼食休憩
12 : 50 ~ 13 : 50 (60 分)	【ワークショップ】 男女共同参画の視点に立った防災事業・活動の組み立て方を考える
13 : 50 ~ 14 : 00 (10 分)	あいさつ・事務連絡
14 : 00 ~ 15 : 00 (60 分)	交流会 ※自由参加、途中退出可 講師と自由にしゃべります。